

平成27年10月1日

お 知 ら せ

件 名	人口低密度地域における農村の維持・活性化方策の検討を始めます ～道内3市町で検討委員会を開催します～
-----	-------------------------------------------------------

お知らせ内容

北海道開発局では、主として農林水産業が営まれている北海道の人口低密度地域において、その魅力や特性を最大限利用し、地域社会の活力の維持向上を図るための方策について検討しています。

この度、農村の維持・活性化に取り組む道内3市町をモデル地域とし、各市町における農村の維持・活性化方策を策定するため、有識者、地域関係者、関係行政機関等による第1回目の検討委員会を下記のとおり開催します。

記

天 塩 町	テ ー マ	農業後継者・担い手の確保と地域農業の潜在力掘り起こしによる地域活性化
	開催日時	平成27年10月6日（火） 14時～16時
	開催場所	天塩町役場 3階大会議室 (天塩町新栄通8丁目)
沼 田 町	テ ー マ	農産物の高付加価値化や地域資源の活用による地域の持続的発展
	開催日時	平成27年10月19日（月） 14時30分～16時30分
	開催場所	沼田町健康福祉総合センター 2階大会議室 (沼田町南1条3丁目6番53号)
滝 川 市	テ ー マ	美しい景観を活かした地域ブランド化による持続可能で活力ある地域づくり
	開催日時	平成27年10月20日（火） 15時～17時
	開催場所	江部乙商工会 2階会議室 (滝川市江部乙町西12丁目1番15号)

※報道関係者の傍聴は可能です。ただし、カメラ撮りは冒頭挨拶までとさせていただきます。

なお、会場スペースの都合上、一般傍聴はお断りさせていただきます。

※取材を希望される場合は、各開催日の前日(休日の場合は直近の平日)12時までに以下の問合せ先まで御連絡ください。

問	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
合 せ 先	北海道開発局 開発調査課	課長補佐	遠藤 謙二	011-709-2311 内線 5453
	北海道開発局 開発調査課	産業・社会開発係長	佐々木 大輔	011-709-2311 内線 5440

農村の維持・活性化方策検討委員会の開催について

1 概要

北海道開発局では、平成27年度北海道開発計画調査「北海道の人口低密度地域における農村の維持に関する基礎調査」において、農村の維持・活性化に取り組む北海道内の3市町をモデル地域として、農村の維持・活性化方策を策定するため、有識者を交えた検討委員会を設置した上で、必要な調査、検討を進めることとしております。

(参考)

北海道の人口低密度地域における農村の維持に関する基礎調査（要旨）

- ・「地球環境時代を先導する新たな北海道総合開発計画」では、主として農林水産業が営まれている人口低密度地域においては、地域社会の活力や社会的サービスの低下が懸念されているとし、こうした地域において、その魅力や特性を最大限利用し、地域社会の活力の維持向上を図る必要があるとしている。
- ・北海道は食料安全保障が課題となっている我が国において食料の安定供給に大きく貢献してきたが、多様で個性ある地域から成る北海道を実現するためには、将来の更なる人口減少を見据え、農村において一層の行政サービスの効率化や集落機能の維持に向けた対策を図っていくと同時に、北海道の特色を活かした農村の魅力づくりを進め、定住人口の減少抑制や交流人口の増加を促進することにより、農村の維持を図っていく必要がある。
- ・本調査では、人口減少が進んでいくことが見込まれる状況において、農村を維持し、活性化する方策について、北海道の農村集落の特性を踏まえ、農業生産法人等の組織経営体に着目し、行政や組織経営体間の連携の促進等を視野に入れつつ、モデル市町村において検討を行う。

2 モデル地域

北海道内の全市町村を対象にモデル地域の募集を行い、応募があった市町村の中から以下の3市町を選定しました。

なお、モデル地域の選定に当たっては、農村の維持・活性化を図る取組として、暮らしの基盤の維持に関する取組、経済（生産）活動の促進に関する取組、農村の魅力向上（地域資源の活用等）に関する取組の実施状況に加え、地域経済・社会への貢献度、営農形態（畑作、稲作、酪農）等を考慮した上で決定しました。

滝川市	美しい景観を活かした地域ブランド化による持続可能で活力ある地域づくり
沼田町	農産物の高付加価値化や地域資源の活用による地域の持続的発展
天塩町	農業後継者・担い手の確保と地域農業の潜在力掘り起こしによる地域活性化

3 検討委員会の概要

各モデル地域の市町ごとに有識者を交えた検討委員会を設置した上で検討を行い、農村の維持・活性化方策を策定します。

(1) 実施時期

平成27年10月～平成28年2月

(2) 検討委員会の概要

検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現状分析及び課題抽出 ・取り組むべき方向性等について検討 ・農村の維持・活性化方策取りまとめ 等
委員構成	<ul style="list-style-type: none"> ・有識者 <ul style="list-style-type: none"> 滝川市：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 林美香子 特任教授 沼田町：北海道大学大学院農学研究院地域連携経済学 小林国之 助教 天塩町：酪農学園大学農食環境学群循環農学類 吉岡徹 准教授 ・地域関係者（農業従事者、農協、商工会、金融機関、その他関係団体） ・関係行政機関（モデル地域の各市町、北海道開発局）
開催場所	・各モデル地域の市町内において開催予定
開催回数	・3回

(3) 検討委員会の進行イメージ

第1回 検討委員会 (10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・検討委員会の設置について ・地域の現状及び将来直面する状況と課題について ・参考となる先進事例等について ・今後取り組むべき方向性等について 等
第2回 検討委員会 (11～12月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ・「農村の維持・活性化方策」素案（たたき台）について 等
第3回 検討委員会 (1～2月頃)	<ul style="list-style-type: none"> ・「農村の維持・活性化方策」（取りまとめ案）について ・「農村の維持・活性化方策」を踏まえた今後の展開等について 等

(注) 調査・検討等の実施過程において、必要に応じて変更する場合があります。

以上